

SYSTEM INTRODUCTION

システム 導入準備

先取りマニュアル

いつ

何を

どうやって

生理検査部門システム選定を 少しでも**効率的**に且つ**安全に進める**ために

システムの選定において優れたコストパフォーマンスを得るにはどのような事をどのような手順で決定すればよいか、日常からシステム選定を主業務としていない限り部門システムの導入には数多くのハードルがあります。特に生理検査部門においてはデータ出力に関する標準規格が定められている装置が少なく、場合によってはIT化に多くの費用がかかってしまう事もあります。生理検査室のIT化には、何をどこまでIT化し、どのような運用の流れを作るのかしっかりしたプランニングが必要です。

システム導入後に**期待していた運用が実現できない**ケースでは**以下のような点が原因**となる事も多くあります

現状業務の運用分析の不足

「何でもできる」と言われて導入した

ユーザー、メーカー間での
システム導入効果の見える化不足

現在の運用がどう変化するか
確認ができていなかった

以上のことを防ぐために、システム選定においては「**やって損をしないプロセス**」が存在します。この準備ガイドがシステム選定の一助になれば幸いです。

システム導入準備 先取りマニュアル

システム検討開始

検討を開始したらすぐにやること

当社サイトよりサンプルをご確認いただけます
※お問い合わせメールをいただければ
エクセルファイルを送信いたします

ToDo	ポイント	アイテム	日数	CHECK
導入したい目安の年月を決める	検討を開始したら基本は次年度以降にシステムを導入するイメージです。		—	<input type="checkbox"/>
現在の運用を確認	・現状の検査別のワークフローの書き出し ・システムに接続されている機器とされていない機器の確認など		3週間	<input type="checkbox"/>
運用上の困っている事を検討	・当日検査のコントロールが難しい ・検査結果の管理が一元的にできていない ・現行システムで対応できていない部分の書き出しなど 現状運用で困っている点を検査室の各担当のメンバーと予め打合せし、サマリする事で、どのようなシステムが自院に必要なのかという点が決めやすくなります。また、その内容をメーカーに伝える事で、メーカー側の提案がより具体的になります。	おこまり事 チェックシート	3週間	<input type="checkbox"/>
ITシステムに接続したい 機器リストを作成	検査数もあわせて確認する事でサーバーの容量や、システム化をどこまで行うかの指標になります。検査数によっては、この検査はオーダー連携と実施の管理のみ対応する等、IT化の範囲を制限する事で費用が安価になるケースも	機器リスト ひながたシート	2,3日 診療科エコー 含む場合 1カ月	<input type="checkbox"/>
検討したいメーカーに連絡し、 情報提供を受ける	メーカーによっては現状運用調査などヒアリングを行います。なるべく運用知識、経験が豊富なメーカーであることがおすすめです。製品の基本仕様を確認し、「《現在の運用》からどう変化するか」「《困っている事》がどれだけ解決できそうか」をチェックしましょう。		1カ月	<input type="checkbox"/>
導入したいシステムの 範囲を決める	来年度は超音波、再来年度に波形部門にまで拡張といった多段階のプランも考えておくと言算化がしやすくなる可能性もあります。		2週間	<input type="checkbox"/>
エコーレポート テンプレートの要求まとめ	メーカーにより対応範囲が異なります。どんなレポートであればスムーズな運用ができるか事前に検討しておくでベストです。またレポート作成時、参照したい画像のレイアウトの検討や、画像viewer側で計測をするかなど画像に関する運用も整理しておくで良いです。		1～2カ月	<input type="checkbox"/>
概算の見積書をメーカーから取得する			2週間	<input type="checkbox"/>
システム選定理由書や 申請書を作成する	Drや管理部門のメリットについてもしっかりと言及することがポイント！ ・IT導入により運用の効率化を実現し、当日オーダー検査の受け入れ数増加を目指す ・2～3件/日の心臓エコー検査数増加を目指す。など。		2週間	<input type="checkbox"/>
予算の申請			2,3日	<input type="checkbox"/>

予算が通ったらすぐにやること

導入プランの作成	メーカーにもよりますが、4カ月～半年が一般的です。		2週間	<input type="checkbox"/>
メーカー選定のための チェックポイント表を作る	提案力・わかりやすさ・サービス体制・製品パッケージ自体の力・運用効率性・提供された資料の質実績・将来性など重視するポイントを列挙し、5段階などの評価をつけ、メーカー間の比較をしやすくします。		1週間	<input type="checkbox"/>
プレゼンテーション・ デモによるメーカー選定	自院の現状と検査状況を踏まえ何が出来るのかをメーカー側から聞き出します。「何でもできる」は要注意です。導入後のメリット等も聞き出せるとよいです。開発体制や将来性をヒアリングする事も重要になります。		1カ月	<input type="checkbox"/>
システム見学会	実際に導入されているご施設の確認をされることも多くあります。 ※現状、コロナ禍でご対応が難しいケースがあります。		調整含め 1～2カ月	<input type="checkbox"/>
システム仕様書の作成	入札にて導入システムを決定する場合は必要な書類を事前に準備します。		調整含め 1～2カ月	<input type="checkbox"/>

システムベンダーが決定したらやること

院内キックオフ	メーカーと導入スケジュールや検討事項などを共有します。		1週間	<input type="checkbox"/>
エコーレポート テンプレート確定	最も時間がかかる工程です。導入が決まり次第検討するとスムーズです。メーカーからひな形を受け取りつつ、現状のレポート書式をベースに、項目別に印刷し赤入れをしていただくとスムーズです。	メーカー各社の ひな形案など	2～3カ月 (医師合意含め)	<input type="checkbox"/>
接続テスト	機器メーカーとITベンダーとの接続テストです。テストオーダーの発行や、SR値の取り込みテストなど問題ないか確認します。		調整含め 2～3週	<input type="checkbox"/>
レポートテンプレートの仕上がり確認	齟齬が無いが、事前に確認します。		1週間	<input type="checkbox"/>
操作説明会	職種毎に操作説明会を受けます。		2週間	<input type="checkbox"/>
新規機器接続依頼の フローを作る	システム導入後、新規で機器を購入する際、機器側にシステムベンダー側の接続費を盛り込んでいただく必要があります。その際のルール(書類等)を決めて、機器選定時の見積取得から漏れないようにします。自科検査エコーが含まれる場合は医療情報部と御相談いただき、機器接続依頼書のようなひな形を作るとスムーズです。		合意含め 2週間から 1か月	<input type="checkbox"/>
リハーサル	運用の想定をリハーサルします。仮端末の設置や、仮オーダーの発行などメーカーと検討します。		2,3日	<input type="checkbox"/>

システム稼働